

令和4年第11回定例教育委員会

令和4年11月18日（金）午前10時
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長 委員 委員 委員 委員	黒川淳司 支部英孝 林大輔 須田壽美江 麓美絵	説明員	教育部長 教育部次長 学校教育支援室長 総務課長 学校教育課長 学校教育課参事 教育支援課長 給食センター長 スポーツ課長 スポーツ課参事 情報図書館長 郷土資料館長 郷土資料館参事 総務課総務係主査	伊藤忠信 佐藤学 中島桂一 山崎浩克 川口直也 浅木義博 清水さおり 根廻哲哉 堀井修典 稲垣恭典 表誠 櫛田智幸 兼平一志 工藤雅和
			記録員		
			傍聴者	なし	

1 報告事項

- （1）令和4年度江別市一般会計補正予算の査定について
- （2）旧町村農場保存活用推進事業保存活用整備方針について

2 審議事項

- （1）令和4年議案第42号
令和5年度江別市一般会計教育予算要求方針について
- （2）令和4年議案第43号
江別市いじめ防止対策審議会委員の委嘱について

3 その他

- 次回教育委員会予定案件について
- 令和4年第12回定例教育委員会の日程について

会 議 録	
黒川教育長	(開 会) ただいまから、令和４年第１１回定例教育委員会を開会いたします。 本日の議事日程は、配付のとおりであります。 会議に先立ち、本日の会議録署名人を、麓委員にお願いいたします。 それでは、議事に入ります。 １の報告事項（１）令和４年度江別市一般会計補正予算の査定についての報告を求めます。
山崎総務課長	山崎総務課長をお願いします。 報告事項（１）令和４年度江別市一般会計補正予算の査定について、ご報告いたします。 資料１ページをご覧ください。 前回の定例教育委員会におきまして、第４回市議会定例会に提出を予定している一般会計補正予算のうち、教育委員会所管分につきまして、財政部局の査定前の内容でご説明いたしました。過日査定結果の通知を受けましたので、ご報告いたします。 ７款１項 商工費、「セラミックアートセンター管理運営経費」以下、記載の計６事業はいずれも要求どおりの査定となっております。 教育部補正額の合計は、１１８，３９９千円の増額となるものであります。 今後は、１１月２５日から開催される第４回市議会定例会で審議のうえ、承認されることにより、補正予算として確定いたします。 なお、裏面の２ページは、今回補正する６事業の順に、施設ごとの燃料費、光熱水費について、当初予算額、９月までの執行済額、１０月からの執行見込額、差引きにより補正を要する不足見込額を記載しており、網掛け部分が１ページにおける各事業の補正額欄に対応しておりますので、ご参照願います。
黒川教育長	以上です。 ただいま報告のありました、令和４年度江別市一般会計補正予算の査定について、質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承) 次に、報告事項（２）旧町村農場保存活用推進事業保存活用整備方針についての報告を求めます。
佐藤教育部次長	佐藤教育部次長をお願いします。 報告事項（２）旧町村農場保存活用推進事業保存活用整備方針の策定について、ご報告いたします。 旧町村農場の保存活用につきましては、第４回定例教育委員会で、ご報告しておりますが、この度、旧町村農場保存活用整備方針を策定しましたので、ご報告いたします。資料をご覧ください。 １ 目的であります。旧町村農場は１９２８年に建築され、建築後９０年以上が経過し、雨漏りや壁の腐食など施設全体にわたり老朽化していることから、令和５年度に大規模改修を計画しております。教育委員会では、改修に向けて、これまで実施してまいりました市場調査や、市民ワークショップで出された意見、関係機関等との協議・検討など、それらを踏まえ、旧町村農場が有する江別の酪農の歴史と産業を発信する施設に、新たな機能を付加し市民に親しまれ利用される施設へのリニューアルを図るため、施設の保存活用に向けた整備方針を策定いたしました。 次に２ 経過であります。市場調査・分析、市民ワークショップなど５月以降、記載のとおり実施してきております。 次に３ 整備方針の概要であります。整備方針は、施設の概要や改修イメージなど１０項目から構成しており、詳細は、別冊でお配りしました「旧町村農場保存活用整備方針」でご説明いたします。 冊子の２ページをお開きください。 旧町村農場の施設概要を記載しております。（３）の沿革に記載のとおり旧町村農場は、平成７年に江別市に譲渡され、翌年に復元整備のうえ、一般公開されております。 また、この年に、江別市における酪農の歴史を伝えるとともに、市民文化及び福祉の向

	上を図るため、条例により江別市の公の施設とされております。 その他、建物概要等については記載のとおりとなっております。 4 ページをお開きください。 4 ページには施設利用状況と所在地の用途地域、地区計画を記載しております。 利用状況では令和元年度には、近隣に大型書店の出店もあり、8,400人余りの方に利用されておりましたが、ここ2年間は新型コロナウイルスの影響により利用者数は減少しております。 5 ページから7 ページにかけまして、本年6月と7月に実施した市民ワークショップについて記載しております。外観や展示、観光など幅広い視点から、様々な意見が出されております。7 ページ上段のとおり、課題としては、多くのワークショップ参加者から、旧町村農場は素晴らしい施設であるが対外的なPR不足を指摘されたところであり、より効果的なPR、それに見合う魅力を備えた施設にする必要があると考えております。同じく7 ページ下段には、今後の江別の人口推計や先ほど説明しましたワークショップ等を踏まえ、旧町村農場が目指す将来像として、「世代や目的に捉われることなく気軽に立ち寄ることができ、緑豊かな自然を活かし多くの市民から親しまれる場所となるよう、魅力的な施設の実現を目指す」としております。 8 ページをお開きください。 来年度に予定する改修工事における、施設整備の方向性について記載しております。5 点あげており、施設の設置条例の目的でもある、「歴史的建造物の保全」、「酪農の歴史を伝える施設」を基本とし、子どもから大人まで、より多くの方に利用いただけるよう、「誰でも利用しやすい施設」、「市民の活動を支える施設」、「立ち寄り・周遊拠点となる施設」を挙げております。 9 ページには、施設の管理運営体制について記載しており、現在の指定管理制度の活用を基本としつつ、今後においては、民間の専門性や活力、柔軟性を活かした効果的で効率的な施設運営が必要になってくること、また、将来的には民間事業者による長期的視点にたった経営力を発揮できる仕組みなど、様々な管理運営手法について検討していく必要があるとしております。 10 ページ、11 ページには、旧町村邸と第一牛舎の改修イメージ図を載せております。旧町村邸では、売店やイートインスペース、体験教室などが可能なイベントスペース、個展等のための貸しスペースを、第一牛舎には、酪農の歴史を伝える展示スペースのほか、子育て世代向けに子どもたちが遊べるスペースなどの機能を想定しております。 最後に、12 ページには参考資料として、江別市旧町村農場条例を添付しております。 以上であります。
黒川教育長	ただいま報告のありました、旧町村農場保存活用推進事業保存活用整備方針について、質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承) 続いて、2の審議事項に入ります。 審議事項(1) 令和4年議案第42号 令和5年度江別市一般会計教育予算要求方針についての説明を求めます。
伊藤教育部長	伊藤教育部長お願いします。 本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条において、「地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち、教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合には、教育委員会の意見を聴かなければならない。」と定められていることから、この規定に基づく教育委員会の意見聴取の前段として、教育予算要求の主な内容をご審議いただこうとするものであります。
佐藤教育部次長	以下、次長及び担当課長からそれぞれ説明いたします。 引き続き、私から、教育部の予算要求方針についてご説明いたします。 資料「令和5年度教育部予算要求方針」をご覧ください。 新型コロナウイルスの長期化や原油価格・物価高騰などにより、経済・社会全般に大きな影響が生じている中、国は令和5年度概算要求において、いわゆる「骨太の方針202

	2」に基づき、「人」、「科学技術・イノベーション」、「スタートアップ」、「グリーン」、「デジタル」の5分野への投資に予算を重点化することが示されております。 江別市では、こうした国の動きを踏まえつつ、令和5年度に最終年度を迎える第6次江別市総合計画に基づき進めてきた事業を検証したうえで、次期総合計画を見据えた政策の方向性を検討することとしております。 教育部においては、総合計画と同様に最終年度を迎える、学校教育基本計画をはじめとした個別計画の基本理念の下、これまで進めてきた各施策についても、その効果を検証するとともに、次年度に向けて各種事業を展開、拡充していくとしており、学校教育においては、市内すべての小中学校で導入となる小中一貫教育の推進やICTを活用した教育内容の充実のほか、不登校児童生徒への支援など、取り組みを進めていく必要があると考えております。 また、生涯にわたり学び、活躍できる環境を確保することが重要であることから、生涯学習や文化・スポーツの環境整備、安全・安心な活動機会を確保する必要があると考えております。 こうしたことを踏まえ、教育部では教育大綱ならびに各個別計画の基本理念等に基づき、教育施策を着実に推進する方針の下、予算要求を行ってまいります。 令和5年度予算要求に向けて、5点を重点事項としております。 1点目として、学校教育施設や社会教育施設などの各施設について、感染症対策の徹底を図りながら、安定的な施設運営に努めるとともに、計画的な改修、修繕を進めます。 2点目として、小中一貫教育による、系統性と一貫性のある教育の充実を図るほか、ICTを活用した教育内容のさらなる充実を図るなど、質の高い教育の提供に向けた体制整備を推進します。 3点目として、引き続き、いじめの未然防止に努めるとともに、増加傾向にある不登校児童生徒に対する支援体制の整備を進めます。 4点目として、生涯学習や文化・芸術活動を推進するため、社会教育施設等の整備・充実を図るほか、市民がスポーツに親しめるよう活動機会の提供や環境整備を進めます。 最後に5点目として、文化財や歴史的建造物などの保全に向けた施設改修など、江別の貴重な歴史的文化的資源の利活用を推進します。 私からは以上となりますが、2ページ以降の各課方針等については、所管課長等から順次ご説明いたします。
山崎総務課長	引き続き、私から、総務課所管分についてご説明いたします。 2ページをご覧ください。 学校施設・設備の維持保全を図り、ポストコロナを見据えた安全で安心な教育環境を実現するため、江別市学校施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設設備の更新等を計画的に進めてまいります。 次に、学校・家庭・地域が連携して、子どもを育てる持続可能な仕組みを持った学校づくりを行うため、引き続き、コミュニティ・スクール事業を進めてまいります。 次に、遠距離通学が必要な児童生徒の安全確保を図るため、引き続き、江北地区・豊幌地区・東西野幌地区・角山地区に、スクールバス及びスクールタクシーを運行してまいります。 次に、私立学校については、各校の建学精神に基づく特色ある教育を一層促進するため、引き続き支援してまいります。
川口学校教育課長	私からは以上です。 引き続き、私から、学校教育課所管分についてご説明いたします。 資料2ページの下段をご覧ください。 はじめに、小中一貫教育では、小中学校・家庭・地域が中学校卒業時の目指す子ども像を共有しながら、義務教育の9年間で系統性と発達段階に応じた一貫性のある指導に取り組むを進めてまいります。 次に、子どもたち一人ひとりの確かな学力の定着を図るため、学習サポート教員の派遣を継続して実施し、ティーム・ティーチングや少人数指導、中学校での放課後学習など、きめ細やかな学習指導を行ってまいります。 次に、国が掲げるGIGAスクール構想に基づき整備したICT機器を活用した系統的な教育を進めることで、個別最適化な学びと協働的な学びの実現を図り、多様な子どもた

清水教育支援課長	ちを誰ひとり取り残すことがないように、学びの保障と充実に取り組んでまいります。 次に、市内大学の協力のもと、小学校で運動プログラムの出前授業及び走り方教室を実施し、子どもたちの体力向上に取り組んでまいります。 次に、小中学校の全学年の外国語の授業に外国語指導助手を引き続き派遣し、外国語教育の充実を図ってまいります。 次に、生徒たちがスポーツや文化活動に継続して親しむことが出来る機会を確保するため、中学校に部活動指導員を新たに配置するとともに、将来の地域移行を含め、当市に適した部活動の在り方を協議する場の設置を進めてまいります。 私からは以上です。 引き続き、私から教育支援課所管分について、ご説明いたします。 資料３ページの上段をご覧ください。 始めに、適応指導教室すぽっとケアを拡充するほか、全小中学校の登校支援室設置を支援するため、各校にサポーターを派遣するなど、不登校児童生徒への支援の充実を図ります。 次に、教員が学級の状態を視覚的に把握して、学級経営に役立てることができるアンケート調査の実施学年及び実施回数を拡充するなど、いじめや不登校の未然防止の取組を進めてまいります。 次に、悩みを抱える子どもや保護者に対し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどによる相談を引き続き実施するほか、関係機関と連携し課題の解決に向けた支援を進めてまいります。 次に、特別な支援を必要とする児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握することで、個に応じた指導を実施するとともに、教育環境を含めた支援体制の整備を進めてまいります。 次に、特別支援教育に関する教職員研修の実施や、支援員の配置、専門家チームの巡回相談等による学校や保護者への助言等、児童生徒が生活や学習上の困難を改善・克服できるよう支援を進めてまいります。 次に、医療的ケアを必要とする児童生徒が、安心・安全に学校生活を送ることができるよう、引き続き支援を進めてまいります。 私からは以上です。
根廻給食センター長	引き続き、私から給食センター所管分についてご説明いたします。 資料の３ページの下段をご覧ください。 始めに、学校給食の提供体制安定化のため、感染症予防策の徹底を図るとともに、調理場設備の計画的更新に努めてまいります。 次に、地場産の米、小麦や野菜など、新鮮な食材の使用拡大を図るとともに、引き続き、安全・安心な給食の提供に努めてまいります。 次に、江別市の公立小中学校における食育の推進（指針）に基づいて、各学校が特色に応じた実践的な食に関する指導に取り組めるよう支援するとともに、食生活の重要性について、保護者を含めた啓発に努めてまいります。 次に、安全で安心な学校給食を提供するため、令和５年度末に耐用年数を迎える学校給食用食器具の箸を更新してまいります。 私からは以上です。
佐藤教育部次長	引き続き、私から生涯学習課所管分についてご説明いたします。 資料の４ページをご覧ください。 始めに、ポストコロナを見据え、市内大学など関係機関・団体と連携して、幅広い年齢層に応じた学習機会を提供するとともに、社会教育施設の感染対策、計画的改修に努め、市民が生涯にわたって学ぶことのできる環境の維持に努めます。 次に、優れた芸術や伝統文化に触れる機会や、気軽に参加・体験できる場の確保に努めるとともに、市民団体が主体的に行う文化芸術活動の成果発表を支援し、人材や団体の育成など、文化芸術活動等を促進してまいります。 次に、姉妹都市米国グレンシャム市との中高生の相互交流を通じ、双方の文化や歴史に対する理解を深め、豊かな国際感覚の涵養に努めるほか、国際交流活動を行う団体への支援を通じ、地域の国際理解・国際交流を推進してまいります。 次に、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりの推進に当たり、家庭教育に関する学

堀井スポーツ課長	習機会や情報の提供を行うなど、家庭や地域の教育力向上を図るほか、子どもの健全な育成を図る環境づくりに取り組んでまいります。 また、次代を担う青少年が、それぞれの可能性や才能を伸ばしていけるよう、関係機関・団体と連携して、青少年の主体性や社会性を育むボランティア・自然体験・社会体験など各種体験事業の充実・強化に努めてまいります。 さらに、江別市の貴重な歴史的建造物を後世に引き継いでいくため、旧町村農場の大規模改修を行うほか、適正な維持管理や保全に努め、施設の利活用を推進してまいります。 私からは以上です。 引き続き、私からスポーツ課所管分についてご説明いたします。 資料4ページの下段をご覧ください。 始めに、全ての市民が心身ともに健康で、心豊かに暮らせるよう、生涯にわたってスポーツを気軽に行える場や機会の提供に努めてまいります。 次に、ポストコロナを見据え、スポーツをすることに加え、見る、支える機会の確保を図るとともに、市民が安心して利用できるスポーツ施設の運営に努めてまいります。 次に、地域スポーツ活動や競技スポーツの活性化を図るため、市内のスポーツ団体を統括する組織を支援してまいります。 次に、スポーツ合宿や障がい者のスポーツ大会支援などに取り組むとともに、トップアスリートとの交流等を通じて市民スポーツの推進を図ります。 次に、スポーツ環境の充実のため、市民要望や長寿命化計画などを踏まえたスポーツ施設の整備・改修を進めてまいります。 次に、高校総体北海道大会開催に合わせて、江別市のスポーツ振興につながるよう、市内開催競技の実施に向けた準備と円滑な大会運営を行います。
表情報図書館長	私からは以上です。 引き続き、私から情報図書館所管分について、ご説明いたします。 資料の5ページの上段をご覧ください。 感染症対策の徹底を講じながら、安心して利用してもらえる施設運営の保持に努めるとともに、インターネットによる予約の推進など、利便性の向上を図ってまいります。 また、公立図書館として、利用者の様々な要望に応えられるよう、幅広い分野の図書資料を収集してまいります。 ポストコロナを見据え、感染症対策を講じた上で、パソコン教室や子どもたちの感性や情操を育むおはなし会の開催に努めてまいります。 また、子どもたちの自主的な読書活動の重要な拠点である学校図書館について、学校司書の巡回による環境整備を継続するとともに、朝読書や調べ学習などの教育活動を支援してまいります。
櫛田郷土資料館長	私からは以上です。 引き続き、私から郷土資料館所管分についてご説明いたします。 資料5ページの下段をご覧ください。 郷土資料館では、感染症対策の徹底を図り、安心して利用してもらえる施設運営に努めるとともに、施設の維持補修等を進めてまいります。 また、ポストコロナを見据え、ふるさと学習のための機会確保に努めるとともに、埋蔵文化財や民具等を公開する企画展を開催するなど、収蔵資料の活用を進めてまいります。 次に、文化財の保護・保存のための調査等を行うとともに、野幌太々神楽の伝承活動に対する支援を行ってまいります。 次に、陶芸をはじめとする芸術文化の鑑賞・発表の機会確保のため、セラミックアートセンターにおいて、収蔵品によるテーマ展を開催するほか、市民の芸術文化活動を支援するため、大学との共催展などを開催してまいります。
黒川教育長 林委員	以上です。 ただいま説明のありました本件に対して区切ることをせず、質問等がございましたら、全体を通してお受けいたします。 どれも必要な予算の内容だと思っています。その中で質問させていただきます。2ページの学校教育課所管になりますが、小中一貫教育体制が始まると思いますが、これを全市でスタートする際に、金額はよろしいのですが、具体的にどのような費用が見込まれるというものがあれば教えていただけますか。

川口学校教育課長	小中一貫教育に関わる経費ですが、主なものとしたしましては、小学校6年生が中学校登校を行う際のバス代等を予算要求していくものであります。バス代に関しましては、令和4年度においても中学校登校を行っておりますので、今年度も引き続き、要求していくものであります。その他としたしましては、会議や研修に掛かる経費や先進地への視察の旅費なども予算要求をしております。令和4年度から減少した分としましては、研究用として教科用図書を小学校には中学校で使うもの、中学校には小学校で使うものを購入しており、今年度で整備終了しておりますので、来年度は行わない状況となっております。
林委員	今のお話の内容から想像する分には、小中一貫教育の体制をスタートするに際しては、なにかシステム整備を行うといった大幅な予算をかけてスタートすることなく、江別市の教育として行えるという認識でよろしいでしょうか。
川口学校教育課長	令和5年度から、江別市の小中学校で一斉に小中一貫教育の導入することになりますが、現在、中学校登校などの取組が進んでおり、今後につきましては、生活規律や学習規律について中学校区でのスタンダードを作成するといった取組や系統的な指導というところで、全国学力・学習状況調査の結果などを教科系統表に反映したり、年間指導計画に反映するといった小中連携して系統的に学ぶというところを取り組んできていますので、令和4年度から予算額が大きく増える状況ではございません。
黒川教育長 須田委員	ほかに質問等はございますか。 3ページの適応指導教室すぽっとケアを拡充するとありますが、どのような点を拡充するお考えでしょうか。
清水教育支援課長	適応指導教室すぽっとケアの拡充につきましては、現在、月曜日から木曜日までの週4回、青年センターと情報図書館を会場に活動をしているところですが、すぽっとケアにつきましても学校と同じく月曜日から金曜日まで実施したいと考えております。それに伴いまして、会場の確保が必要となりますことから、日数の拡充及び会場についても現在、検討しているところです。
黒川教育長	ほかに質問等はございますか。 (質疑終了) それでは、令和4年議案第42号 令和5年度江別市一般会計教育予算要求方針についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。 次に、(2) 令和4年議案第43号 江別市いじめ防止対策審議会委員の委嘱についての説明を求めます。 清水教育支援課長をお願いします。
清水教育支援課長	審議事項(2) 議案第43号 江別市いじめ防止対策審議会委員の委嘱について、ご説明いたします。 資料をご覧ください。 江別市いじめ防止対策審議会は、江別市いじめ防止対策審議会条例に基づき設置されているもので、地域におけるいじめの防止等のための対策に関することや、いじめの重大事態に係る事実関係の調査に関する事項について、教育委員会の諮問に応じる機関であります。 審議会委員は、令和2年12月1日から2年間の任期で委嘱しておりますが、令和4年11月30日で任期満了となりますことから、今回、新たに委員を委嘱しようとするものであります。 1の委員候補者については、2ページの委員名簿に記載のとおり、北翔大学等、5団体から推薦をいただいた5名であります。 2の委員の任期については、令和4年12月1日から令和6年11月30日までであります。
黒川教育長	以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。 ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。 (質疑終了) それでは、令和4年議案第43号 江別市いじめ防止対策審議会委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承)

山崎総務課長	それでは、そのように承認いたします。 続いて、3のその他、次回教育委員会予定案件及び日程について、説明願います。 山崎総務課長お願いします。 次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、令和4年第4回江別市議会定例会の一般質問について、令和5年はたちのつどいの開催について、江別市学校教育基本計画、社会教育総合計画、スポーツ推進計画、子どもの読書活動推進計画の各計画に係る令和3年度の推進状況報告書について、令和4年度（令和5年度入学）学校選択制等に係る申請状況について、審議事項として、令和5年度江別市一般会計教育予算要求案について、令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について、などを予定しております。
黒川教育長	また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、12月22日木曜日午前10時00分からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。 ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は12月22日木曜日午前10時00分からということで、皆様よろしいですか。 （一同了承） 以上をもちまして、第11回定例教育委員会を終了いたします。 （閉 会）

終了 午後10時41分

署名人（教育長） 黒 川 淳 司

署 名 人 麓 美 絵